

航空機を“引っ越し”

中日本航空
専門学校 新校舎へ4機移設

関市迫間の中日本航空専門学校は15日、今春の新校舎完成を前に、現校舎南側の屋外に並べていた戦闘機「ロッキードF-104J」など航空機4機をクレーン車でつり上げて新校舎の展示場に

一般の人に見学してもらえようとする。同学校は航空産業の人材を育成している。航空生産科とエアポートサービス科の学生が学ぶ新校舎では、来校者が航空機を見たり、触ったりできるよう新

校舎の北庭と中庭に展示場を整備した。移設したのは全長18・5㍎、重量約6トンの戦闘機と小型機「富士F A-200(エアロスバル)」、ヘリコプター「三菱シコルスキー」など4機。クレーン車でつり上げ、トレーラーに載せて新校舎近くに運び、さらにクレーン車で展示場所に移した。

安藤弘治校長は「子どもが機体に乗れるようにしたい。一般の人が気軽に来校してもらえるように整備を進めたい」と話した。

(青山和史)



新校舎の北庭に移設される戦闘機「ロッキードF-104J」＝関市迫間、中日本航空専門学校